

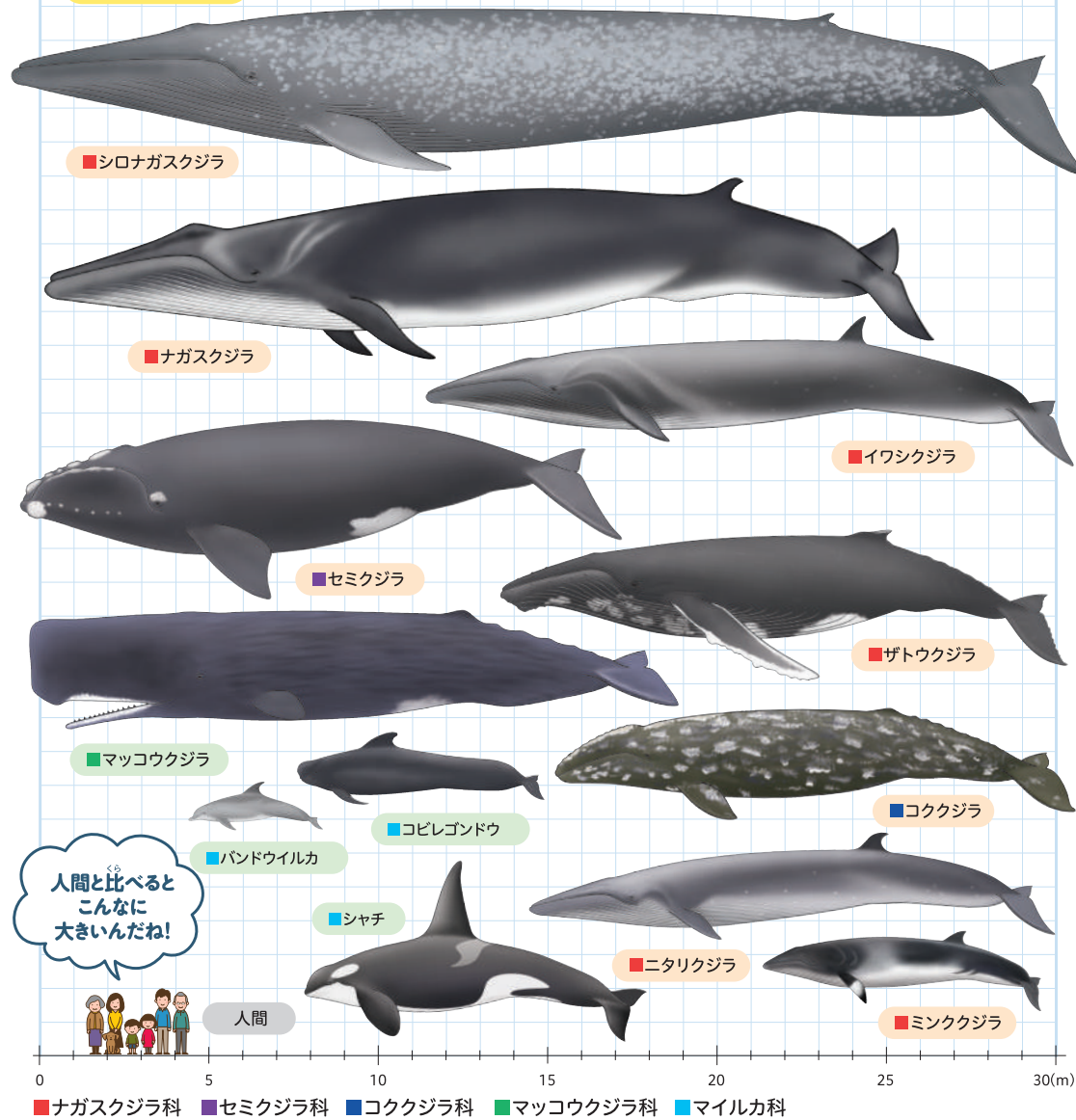
Q くじらの仲間は何種類いるの？ 人間と比べてどれくらい大きいのかな？

くじらの仲間は、ヒゲクジラ類(約14種)とハクジラ類(約75種)の2つに分けられます。一番大きなシロナガスクジラはヒゲクジラ類になります。そして、みなさんがよく知っているイルカはハクジラ類です。4メートルより小さなくじらが「イルカ」と呼ばれているのです。

クジラは全部で89種類いるよ



クジラの大きさ



人間と比べるとこんなに大きいんだね!

Q ヒゲクジラ類とハクジラ類の違いは？

ヒゲクジラ類(約14種)



ハクジラ類(約75種)



ヒゲクジラ類は、歯のかわりに「くじらひげ」というクシのような形のひげ板が、上あごからびっしり200~400枚生えています。

あごにするどい歯が生えているのがハクジラ類です。ほかのほ乳類とも違って、すべての歯がとがっている「犬歯」なのです。

ヒゲクジラ類

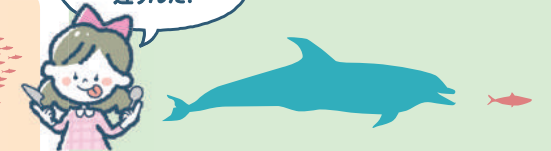


「くじらひげ」を使って食べるよ!

ヒゲクジラ類のエサはオキアミなどの動物プランクトンや小魚で、海水ごと口に入れて食べます。「くじらひげ」を「ざる」のように使って海水を上手にこして食べます。



ハクジラ類



するどい歯でつままえて食べるよ!

小さくてくちばしみたいな口をしたハクジラ類のエサは、海の中のいろんな魚やイカです。まるでハンターのように一匹ずつ狙って、あごについたするどい歯で捕とらえて食べます。



これも知ってた?

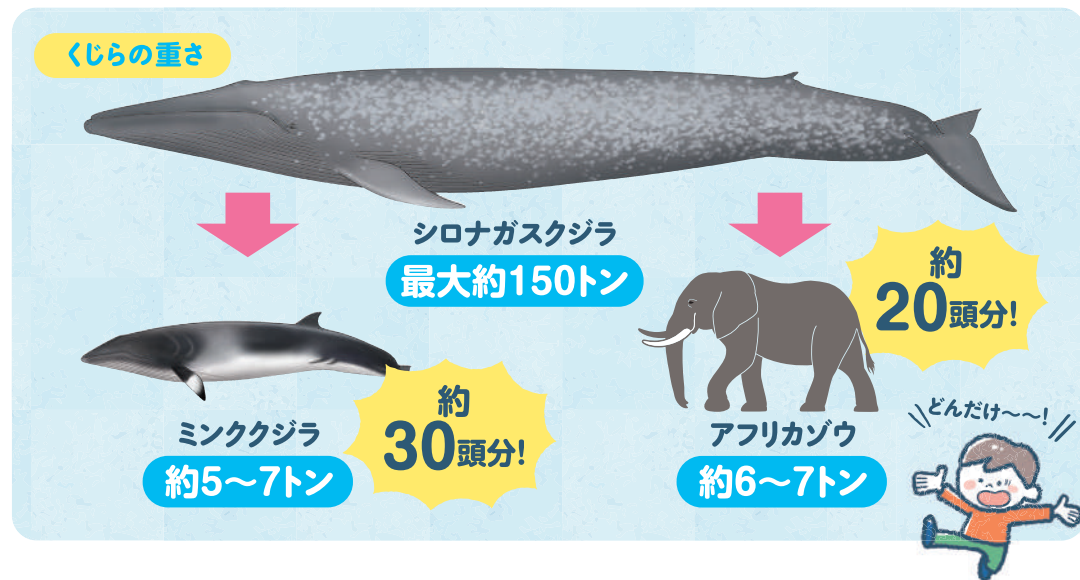
くじらは1日に4トンも食べるよ!

くじらは、1日に自分の体重の約4パーセントの量のエサを食べます。シロナガスクジラだと約4トンもの量になるよ! たくさん食べられる理由は、胃袋が4つあるからです。一番目の胃袋にエサをためて、順番に次の胃袋に送りながらゆっくり消化します。

いわし(約10グラム)
×
40万匹!

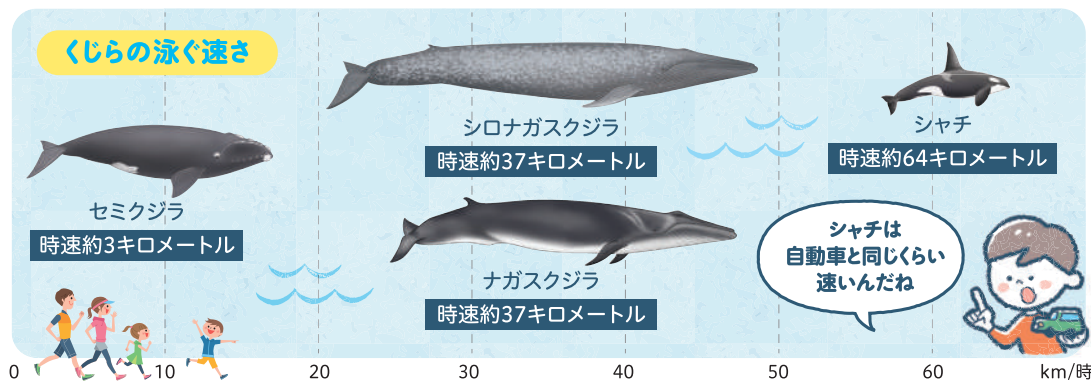
Q くじらの体重はどれくらいあるの？

くじらは海の中に浮く力があるので、重たいからだでも生きられるようになりました。中でもシロナガスクジラは最大約150トンもあり、その重さはアフリカゾウ約20頭分になります。



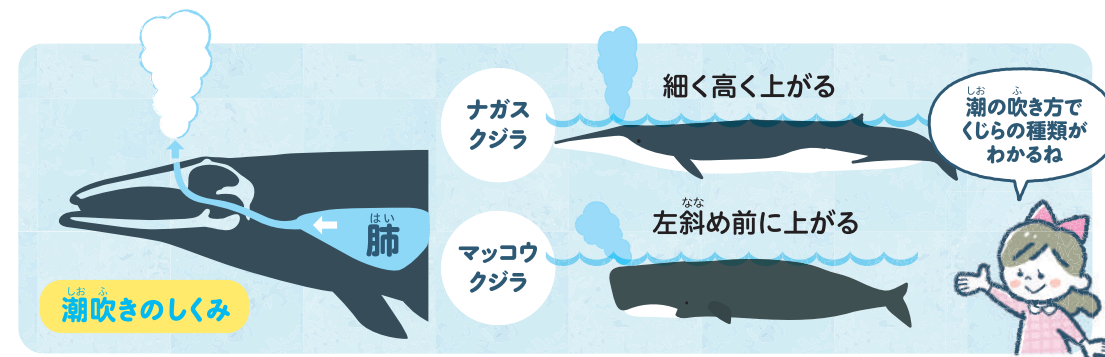
Q くじらの泳ぐスピードは？

90種類近い仲間がいるくじらの中で最も速く泳げるのは、時速約64キロメートルで泳ぐハクジラ類のシャチです。逆に一番のんびりしているのは、ヒゲクジラ類のセミクジラです。セミクジラの泳ぐ速さは時速約3キロメートルと、ちょうど人間がゆっくり歩くくらいのスピードです。一緒にお散歩してみたいですね。



Q ダイナミックな潮吹きはどうやってるの？

みなさんは寒い場所で自分の息が白く見えたことはありませんか？ くじらの潮吹きもそれと同じです。動物の息は温かくて水分をたくさん含んでいるのですが、その水分が冷えて白く見えているのです。長い時間海にもぐっているくじらは、水面に上がった時に肺にたまった空気を一気に放出します。その放出された空気が体外に出た時に冷やされ、水分が白く見えているのです。



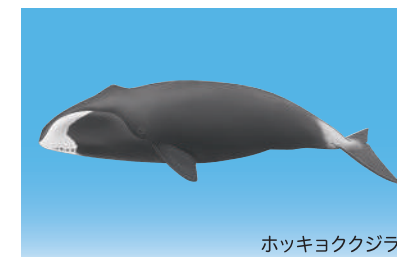
Q くじらは音が聞こえてるの？

外見からはほとんどわかりませんが、くじらの耳の穴は目の少し後ろについています。けれどもその耳の穴は、海水が入らないようにふさがっています。では、どのようにして音を聞いているのでしょうか？ 実は、くじらのはあごの先で「音の振動」を感じとり、その振動をあごの骨から耳まで伝えることで、音を届けているのです。おもしろい音の聞き方をしているんだね。



これも知ってた？ **200歳まで生きたくじらもいるよ!**

ヒゲクジラ類は「耳あか」を、ハクジラ類は「歯」を調べることで年齢がわかります。シロナガスクジラだとおおよそ120歳、イルカは35歳くらいまで生きます。200歳まで生きたホッキョククジラもいたんだって!



日本の捕鯨の歴史

くじらと日本人はいつから関係していたのでしょうか？

また、日本の捕鯨文化はどのように発展してきたのでしょうか？

ここでは日本と世界における捕鯨の歴史と現在の状況について学びましょう。



捕鯨の伝統と文化

原始・古代の捕鯨

石 川県の真脇遺跡からは約5000年前のイルカの骨が大量に出土し、九州でも約4000年前の遺跡からくじらの椎骨を製作台にして作られた土器(鯨底土器)が多く発見されています。また、現存する日本最古の歴史書「古事記」の中にもくじらが登場します。くじらと人間は大昔から関係があったんだね。



国指定史跡 真脇遺跡
(石川県鳳珠郡能登町)
提供:金沢医科大学 平口哲夫教授

中世・近世の捕鯨

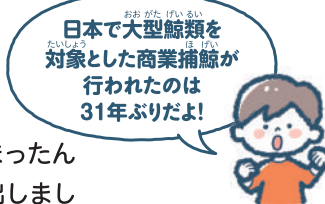
12 世紀には、船をこぎだして鉞で突く「突き取り式捕鯨」が生まれ、江戸時代には、和歌山県で日本最初の捕鯨専門組織「鯨組」が設立されました。1675年に「網取り式捕鯨」が開発されると土佐や長崎などにも広まり、くじらの捕獲量は一気に増え、大量に流通するようになり、貴族階級しか口にできなかったくじら肉は庶民にも広まりました。また、各地でくじらの墓や供養碑を建てて供養を行うようになりました。唄や踊りなどくじらに関する芸能文化もこの時期に発展したんだよ。



「小川嶋捕鯨絵巻」より

近代・現代の捕鯨

日 本の近代捕鯨は、1899年導入の「ノルウェー式捕鯨」で始まったんだ。沿岸捕鯨の復活により、1934年からは南氷洋にも進出しました。しかし、各国の大規模な捕鯨により世界中のくじら資源が激減し、欧米諸国は南氷洋から撤退。最後まで残った日本も国際捕鯨委員会(IWC)による商業捕鯨モラトリアムを受け入れて撤退し、国際捕鯨取締条約(ICRW)に基づき調査捕鯨のほか、一部の地域で小型捕鯨やイルカ漁のみを行っていました。2018年12月26日、日本は2019年6月末をもって国際捕鯨取締条約を脱退し、7月から日本の領海と排他的経済水域に限定した商業捕鯨の再開を表明。2019年7月1日に水産庁より捕獲枠が発表されると、母船式捕鯨業の日新丸船団と沿岸小型捕鯨業の捕鯨船が一斉に出漁したよ。



日本で大型鯨類を対象とした商業捕鯨が行われたのは31年ぶりだよ!

捕鯨の歴史年表

- 約9000年～6000年前 貝塚からの出土品により、縄文人の鯨類の利用が確認される。
- 約6000年～1000年 朝鮮半島の盤亀台(バングデ)で鯨類や捕鯨の様子が描かれた岩刻画が発見されたことから捕鯨の可能性が示唆される。
- 約5000年前 石川県の真脇遺跡の遺物から縄文人がイルカ漁を行っていたと考えられる。
- 約3000年以降 ノルウェーでイルカなどを描いた洞窟壁画が発見されていることからイルカ漁を行っていたと考えられる。
- 約2300年～1700年前 弥生式土器に日本最古の捕鯨線刻画が記されていることから捕鯨が行われていたと考えられる。
- 801～900年 ビスケー湾に面するバスク地方(フランス、スペイン)のバスク人が捕鯨を始めたと考えられる。
- 1570～73年 知多半島師崎で手投げ鉞による突き取り式捕鯨が始まる。
- 1591年 長曾我部元親が豊臣秀吉にくじらを献上する。
- 1606年 紀州太地で刺手組が組織され、手投げ鉞による突き取り式の組織的な捕鯨が始まる。
- 1612年 安房国の領主里美忠義が、初漁時、伊勢神宮にくじらの脂皮を献上していたという記録が残っている。
- 1648年 安房勝山村で、初代醍醐新兵衛が元締めとなって突組が組織される。
- 1675年 紀州太地で和田寛右衛門頼治(のちの太地寛右衛門頼治)が、網掛け突き取り法を考案。沿岸捕鯨発展の礎となる。
- 1683年 和田寛右衛門頼治が網掛け突き取り法を土佐に伝授。
- 1684年 和田寛右衛門頼治が網掛け突き取り法を備前に伝授。
- 1822年 イギリスの捕鯨船・サラセン号が浦賀沖に停泊。
- 1832年 長崎県生月島の益富組によりくじら料理の専門書「鯨肉調味方」が発行される。
- 1853年 ペリー艦隊が浦賀に停泊する。
- 1869年 千葉勝山の醍醐組捕鯨事業休止。
- 1878年 太地でセミクジラを捕獲中悪天候にあい、184名中生存者は13名という大惨事に。これにより古式捕鯨が終焉を迎える。
- 1899年 岡十郎がノルウェー式捕鯨を行う「日本遠洋漁業」を設立する。
- 1904年 ノルウェー人により南極海で捕鯨が開始される。
- 1925年 地元資本により鮎川捕鯨株式会社創業。捕鯨を始める。
- 1931年 くじら資源の国際的な管理を目的とする最初の国際捕鯨取締条約(ICRW)がジュネーブで署名される。
- 1934年 日本は、南極海にて母船式捕鯨を始める。
- 1946年 ICRWが米国ワシントンで15カ国により署名される。
- 1948年 ICRWが発効。その執行機関として国際捕鯨委員会(IWC)が設立される。千葉和田浦で外房捕鯨が捕鯨を開始する。
- 1951年 日本がICRWに加入、IWCに加盟。
- 1970年 北海道網走の下道水産が捕鯨開始。
- 1972年 国連人間環境会議で商業捕鯨を10年間で停止(モラトリアム)する決議が可決される。同年開催されたIWCの年次会でもモラトリアムの提案があったが、科学的根拠がないと否決。
- 1982年 IWCが1986年からの商業捕鯨モラトリアムを決定。日本はこの決定に対し、異議申し立てをする。
- 1985年 日米協議の結果、日本はIWCに対し、異議申し立てを撤回する。
- 1987年 日本は南極海でクロミンククジラの捕獲調査を開始する。
- 1988年 日本は北太平洋でミンククジラ、マッコウクジラの捕獲を停止。
- 1994年 日本はミンククジラを対象とした北西太平洋鯨類捕獲調査を開始する。
- 2000年 日本はミンククジラに加え、ニタリクジラとマッコウクジラを追加した第2期北西太平洋鯨類捕獲調査を開始する。
- 2005年 日本は第2期南極海鯨類捕獲調査を開始。
- 2012年 IWC科学委員会は南極海のクロミンククジラの新たな資源量推定値として51万5千頭と合意。
- 2015年 日本は新たな鯨類調査計画(新南極海鯨類科学調査)を開始する。
- 2017年 日本は新たな鯨類調査計画(新北西太平洋鯨類科学調査)を開始する。
- 2018年 日本はIWCからの脱退を通告。
- 2019年 日本はIWCから脱退、日本の領海および排他的経済水域にて母船式捕鯨業および基地式捕鯨業(*)を始める。



日本人とくじらにはなが〜い歴史があるんだね!

捕鯨の文化は日本だけじゃないんだね



(※)用語解説は裏表紙にあります。